

「行動リハビリテーション」投稿規定

1. 本誌の目的

- 1) 本誌は行動リハビリテーション研究会の機関誌として、応用行動分析学をリハビリテーション領域に利用した研究発表の場を提供することを主な目的とします。

2. 投稿内容

- 1) 本誌への投稿原稿はリハビリテーションと行動分析学に関連した論文を主体とし、未公開論文で他誌に掲載予定のないものに限りです。
- 2) 研究は本研究会の倫理指針を踏まえて実施してください。
- 3) 筆頭著者は、本研究会会員に限りです。ただし、編集委員会が認めた場合はこの限りではありません。

3. 投稿区分

- 1) 原著：独創的で斬新な知見を含む結果の考察および記述。
- 2) 事例報告：特色ある介入に焦点を当てた報告。
- 3) 総説：特定のテーマに関する組織的な論評および総括。

4. 執筆要領

- 1) 原稿の長さは、研究論文 15,000 字以内、総説 20,000 字以内としてください（図表等は 1 点につき 400 字に換算してください）。
- 2) 原稿の 1 ページ目を表題頁、2 ページ目を要旨、3 ページ目以降を本文とってください。
- 3) 表題頁には、投稿区分、表題、著者、所属、連絡先（氏名、住所、電話、e-mail アドレス）を明記してください。
- 4) 要旨は 400 字以内で記載し、要旨の下にキーワードを語記してください。
- 5) 原著論文は、1. はじめに、2. 方法、3. 結果、4. 考察、5. 結論のように見出しをつけて記述してください。
- 6) 事例報告は、1. はじめに、2. 対象、3. 介入、4. 結果、5. 考察、6. 結論のように見出しをつけて記述してください。
- 7) 原稿には行番号とページを記載し、行番号および頁は、表題頁からの通し番号とってください。
- 8) 原稿は Microsoft Word を使用し、楷書、横書き、現代かなづかいで作成してください。
- 9) 略語は初出時にフルスペルを記載してください。
- 10) 一般的には日本語化しているものはカタカナ表記

とってください。

- 11) 数字は算用数字、半角で記載してください。
- 12) 数量は国際単位系（S I 単位）記号を用いてください（例：m, cm, ml, kg, など）。
- 13) 外国人名は原語を用いてください。
- 14) 括弧は全角で記載し、英字は半角で記載してください。
- 15) P 値は、その値を記載してください（ただし、0.01 より小さい場合は、 $p < 0.01$ とってください）。
- 16) 文献リストは引用文献のみとし、本文の引用順に配列してください。
- 17) 本文中の引用箇所には、文献リストの番号を上付き文字にて明記してください。
- 18) 雑誌の場合は、著者氏名、論文題目、雑誌名、西暦年号、巻、頁（最初～最終）、の順に記載してください。また、雑誌は Index Medicus に従い、略語で記載してください。
- 19) 単行本の場合は、著者氏名、書名、編集者名、発行所名、発行地、年次、頁の順に記載してください。（例）
 1. 大森圭貢、鈴木誠、堀田宗文、長澤弘、笹益雄。パーキンソン病患者に対するトレッドミル後進歩行運動が平地歩行能力に及ぼす即時効果：クロスオーバーデザインを用いた検討。理学療法学 2010；39：22-28。
 2. Suzuki M, Yamada S, Inamura A, Omori Y, Kirimoto H, Sugimura S, Miyamoto M. Reliability and validity of measurements of knee extension strength obtained from nursing home residents with dementia. Am J Phys Med Rehabil 2009；88：924-933。
 3. 山崎裕司、山本淳一。リハビリテーション効果を最大限に引き出すコツ：応用行動分析で運動療法と ADL 訓練は変わる。三輪書店、東京、2008、pp100-123。
 4. Portney LG, Watkins MP. Foundation of clinical research. Upper, Saddle River, Prentice Hall Health; 2000, pp123-132。
- 20) 電子文献の場合は、著者名、書名、入手先、閲覧日の順に記載して下さい。（例）厚生労働省：平成 26 年版厚生労働白書。http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/14（閲覧日 2014 年 12 月 25 日）
- 21) 表は Microsoft Word で作成し、本文のファイルとは別にまとめてください。
- 22) 表には全て表題をつけてください。

23) 図は白黒のみとし、Microsoft Excel, Microsoft PowerPoint, TIF イメージファイルのいずれかで作成し、本文のファイルとは別にまとめてください。

4) 加筆・修正を求められた著者が、指定された期限までに再提出しない場合は投稿を取り下げたこととします。なお、事務局に提出期限延長の承諾を得た場合はこの限りではありません。

5. 投稿方法・期間

- 1) 原稿、投稿承諾書、倫理チェックリストを e-mail に添付し、koudo_reha@yahoo.co.jp (行動リハビリテーション研究会 事務局) 宛に送付してください。
- 2) 投稿期間は、7月1日から8月31日までとします。投稿後、1週間しても受付を知らせるメールが届かない場合には、お手数ですが確認の連絡をお願いします。

6. 採否の決定

- 1) 論文の採否は編集委員会の責任において行い、印刷に際して編集委員会が語句などを多少添削することがあり得ます。
- 2) 論文の採択後、原則として著者校正を1回のみ行います。
- 3) 査読結果の通知には1ヶ月程度要します。

7. 著作権

- 1) 本誌掲載後、著作権および出版権は行動リハビリテーション研究会に帰属するものとします。譲渡していただく著作財産権とは、印刷や複写により再生する複製権、インターネットなどで内容を送信する公衆送信権、翻訳権、二次的著作物利用権などのことです。
- 2) 著者自身の上記の権利を拘束するものではありませんが、再度利用される場合は事前に事務局までご連絡ください。本誌掲載後、著作権は行動リハビリテーション研究会に帰属するものとします。

8. 引用・転載の許諾

- 1) 他の著作物からの引用および転載に際しては、著作権保護のため原出版社や原著者の許諾が必要となりますので、予め許諾を得てください。

編集顧問

山本 淳一 (慶應義塾大学文学部)

編集委員長

山崎 裕司 (高知リハビリテーション専門職大学)

編集委員

遠藤 晃祥 (白石明日佳病院)
 大森 圭貢 (湘南医療大学健康医療学部)
 加藤 宗規 (SBC東京医療大学理学療法学科)
 是村 由佳 ((株) コレムラ技研 パラスト事業部)
 坂口 友康 (日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科)
 鈴木 誠 (東京家政大学健康科学部)
 増山英理子 (昭和大学医療衛生学部作業療法学科)
 森下 史子 (済生会横浜市東部病院リハビリテーション科)

[50音順]